2027年度PMからのメッセージ

氏名・所属：竹迫　良範（神山まるごと高専 デザイン・エンジニアリング学科 教授）



専門分野：

新規事業、セキュリティ、バイナリ、低レイヤー、組込機器、IoT、Web、AI、オープンソース、開発ツール、プログラミング教育、人材育成

略歴：

2002年 広島市立大学　情報科学部　情報機械システム工学科　卒業
2002年 株式会社ドリームアーツ　入社
2005年 サイボウズ・ラボ株式会社　入社
　　Shibuya.pmリーダー、U-20プログラミングコンテスト審査委員、
　　SECCON実行委員長、IPAセキュリティ・キャンプ講師など歴任
2015年 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ　技術フェロー
2016年 IPA 産業サイバーセキュリティセンター　非常勤嘱託
2016年 首都大学東京　システムデザイン学部　非常勤講師
2017年 株式会社メルカリ　技術顧問
2018年 高知工業高等専門学校　客員教授
2018年 株式会社リクルートテクノロジーズ 執行役員
2018年 NICT ナショナルサイバートレーニングセンター 協力研究員
2018年 大阪大学　大学院情報科学研究科　招聘教員
2019年 東京都立産業技術高等専門学校　客員教授
2020年 東京都立産業技術大学院大学　非常勤講師
2020年 株式会社リクルート データプロダクトユニット ユニット長
2020年 株式会社リクルート アドバンスドテクノロジーラボ 所長
2024年 10月より 神山まるごと高専 教授 着任

メッセージ：

生成AIネイティブ世代に向けた新しいプログラミング教育ツールの社会実装や、セキュリティ技術・低レイヤー系など幅広い提案を歓迎します。その中でも、ライフワークとして継続的に取り組めるテーマで、筋の良い「車輪の再発明」は大歓迎です。学習目的のために車輪の再発明をすることもありますが、未踏ではそれ以上の価値が求められます。プロジェクトの採択には、革新的なテーマ設定ができているかどうか、それらを解決できる技術力を本人たちが有しているか、またそれらを自分たちで取り組む競争優位性があるか、そしてプロジェクト期間終了後の将来性があるか、プロジェクトが失敗したとしても社会への新しい学びは得られるか、など複数の観点から多面的に評価を行います。

AI前提の時代だからこそ、アプリケーションを実装する際にも、低レイヤーの技術にも精通し、下から上まで一気通貫で自分の手を動かしてモノづくりしていることが競争優位性になり得ます。物事の原理原則を理解した上で型を上手に破り、自分の新しい型を作る、そんな試行錯誤の中で新しい技術革新が生まれることを期待しています。成功するまで諦めずに継続することも大事、自分で一からコードを書くのが大好きで、プログラミングに熱中できる情熱も重要です。その結果、世界に新しい価値を一つでも提供することができれば、胸を張って未踏の領域に踏み込めたと言えるでしょう。

車輪の再発明であっても大歓迎、実装するのが大変でも自分が情熱を持って続けられる、内発的動機に基づいた提案を待っています。

審査基準：

1. 課題設定力
   未踏の新領域に進出するための独自性・革新性のあるテーマ設定ができているかどうか
2. 問題解決力
   自分で設定した課題を解決するために必要な技術力・問題解決力を有しているかどうか
3. 技術の幅と深さ
   誰にも負けない技術の幅と深さがあり、自分達で開発する意義・優位性があるかどうか
4. 将来性
   終了後もさらなる発展が望め、社会的インパクトを与える可能性を秘めているかどうか
5. まなび
   本プロジェクト遂行によって、個人と社会のそれぞれで新しい学びが得られるかどうか